

研究成果発表会を開催 日本建設技術グループ



【佐賀】日本建設技術グループは13日、令和6年度研究成果発表会Ⅱ写真Ⅱを唐津市の唐津シーサイドホテルで開催した。グループ会社の社員や来賓など約170人が参加し、昨年度のあゆみやFWG・ミラクルソルを用いた藻場再生のための着生基盤材の提案などの発表を聞いた。

研究成果発表会は毎年開催しており、今回で第20回目となる。日本建設技術の原裕代表取締役社長をはじめとして、古川康衆議員や福岡資磨参議院議員、大場芳博佐賀県議会議長らが参加。

冒頭、原社長は「第20回目が来ている。私の意図するところは、社員と会社の組織を成長させる仕組みを作り上げること。新入社員に早く新しいことを学んでもら

い、それを次世代に続けていく、そういう会社を構想している」と語った。

成果発表では、初めに原社長が「2023年のあゆみと海のグリーンインフラ」をテーマとして、壇上に立った。昨年度のトピックや展示会への出展、講演会の開催など、精力的な活動内容を紹介したほか、FWG・ミラクルソルを用いた藻場再生のための着生基盤材の提案について説明。

実証実験や室内実験の結果を公表し、海藻の繁茂に効果があるものと考えられるとした。

続いて、日本建設技術建設&コンサルタント事業本部建設事業部の古河祐一建設5課長が「集落で発生した地すべり災害に対する抑制工の施工事例」。

「特別養護老人ホーム 御船荘温泉掘削工事」につ

いて、それぞれ発表した。

このほか、優秀な成績を収めた社員に対する表彰式が執り行われ、第一部は閉会。第2部は同じ会場で懇親会と新入社員歓迎会を開いた。